

第8戦

25日
世界選手
遠藤智

初日会見では「優勝への課題はフリー走行と予選のスピード。いいグリッドにつけて、序盤から有利に戦わなければね」と語っていたが、その公約通りの発進だ。

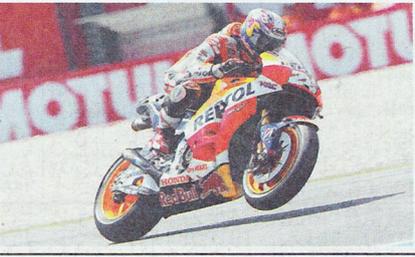
ランク首位のバレンティノ・ロッシ(ヤマハ)がフリー1回目で昨年の最終戦バレンシアGP以来となるセツショントップタイムをマークされたが、再び突き放す意気込みだ。

3勝目に向けて上々のスタートを切った。マルク・マルクは総合2位で、2年ぶりの優勝に自信たっぷり笑顔を見せている。

前戦カタルニア後にアラゴンでニューシャシーをテスト。内容については多くを語らなかったが、「すくなくいいテストだった」と、2年ぶりの7回目の優勝に自信たっぷりの笑顔を見せている。

ペドロサ本調子
総合トップタイム

右腕手術の傷も癒え、トップタイムのペドロサ



右腕手術の傷も癒え、トップタイムのペドロサ

「オランダは天候が不安定なので、今日はドライコンディションになって良かった。セツアップも進んだしね」と、1分33秒450をマーク。2012年にケイシー・ストーナーが出したサーキットベストを0.267秒縮める、自身今季初のセツショントップタイムに笑いが止まらなかった。

悪循環止まらず
マルケスまた転倒

○：イタリア、カタルニアと連続転倒を喫したマルケスは今大会も初日フリーで転倒。以後巻き返して2番手につけたものの、不安は拭き切れないようす。「好きなサーキットだけじゃマハが強く、厳しい戦いになるはず。でも何とかしないとね」と、悪い流れを断ち切ろうと必死。「その

みんなのスポーツ

川崎中央3-1 東練馬
春の全国選抜大会に惜しくも出場できなかった川崎中央が、東練馬との代表位決定戦に勝利し、夏の全国大会出場を決めた。

春の雪辱!! 川崎中央
夏は全国へ



日本選手権大会出場を決めた川崎中央シニア
○今大会(2)までわずか1失点の川崎中央の大エース・小野寺



東練馬は6回表、4番・牧内のタイムリーで1点を返すが...

は「川崎中央の16期34人全員でつかんだ全国大会、まだ実感は沸かないですが、すごくうれしいです。でも、まだ先があるので、次の試合ではこれまでに負けている横浜青葉を倒してジャイアンツカップ出場も決めた。全国では、一戦必勝で戦っていきたいです」と抱負を語り、剛腕ピッチャー・小野寺は「今大会は

お問い合わせ 03-6671-0231
のツPPら
な一Hち
みんボ式こ
みス公は

2015 MEIKO CUP 争奪リトルシニア関東連盟夏季大会の5回戦が21日、荒川シニアグラウンドなど4球場で行われ、春の関東大会で優勝した荒川、準優勝した千葉西らが勝ちベスト8進出。春の日本一・佐倉は取手を延長の未破り、川崎中央はエース・小野寺が好投、新宿はサヨナラ、武蔵府中は逆転、静岡裾野は大宮との接戦をものに、横浜青葉は海老名との壮絶な接戦を制して勝利。それぞれ、夏の日本選手権大会出場を決めた。28日には準々決勝4試合と、残る4枠の代表切符を争う代表決定戦が行われる。(瀬川ふみ子)

4番が意地のタイムリーも...
東練馬一步及ばず
東練馬はこちらも好投手の万波中正をマウンドに送ったが、四球やエラーなどで3失点。打線は4回に幸田一真のヒット、5回に丸山大賀の内野安打が出るも得点ならず。6回に、鈴木裕、幸田の連打後、4番・牧内大斗によろやくタイムリーが飛び出したが、反撃はそこまでだった。タイムリーを打った牧内は「相手投手は今まで1点も取られていないと聞いていたけど、4番として絶対ここで打って点を取りたいと思って打席に入った。負けたのは悔しいけど、まだもう一回チャンスがある。4番としてランナー